

ベトナム株式市場の魅力

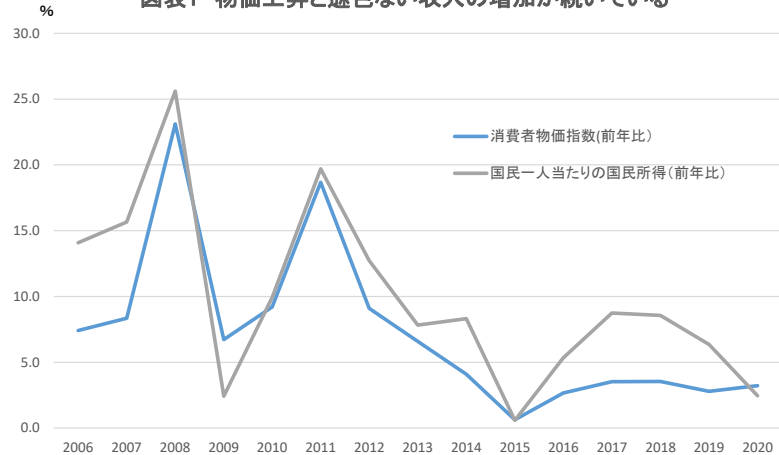


《緩やかな物価上昇・賃金上昇・経済成長の好循環が続く》

日本では、2013年に当時の内閣が財政・金融政策を総動員し、「2%の物価上昇」を目標にデフレ脱却を目指しました。政府は財政拡大や成長戦略に取り組み、日本銀行は市場への資金供給拡大を押し進めましたが、物価目標の達成はできていません。

しかし、世界には物価上昇、一人当たりの収入増加の好循環によって、高水準の経済成長が続いている国があります。それはベトナムです。

図表1 物価上昇と遜色ない収入の増加が続いている



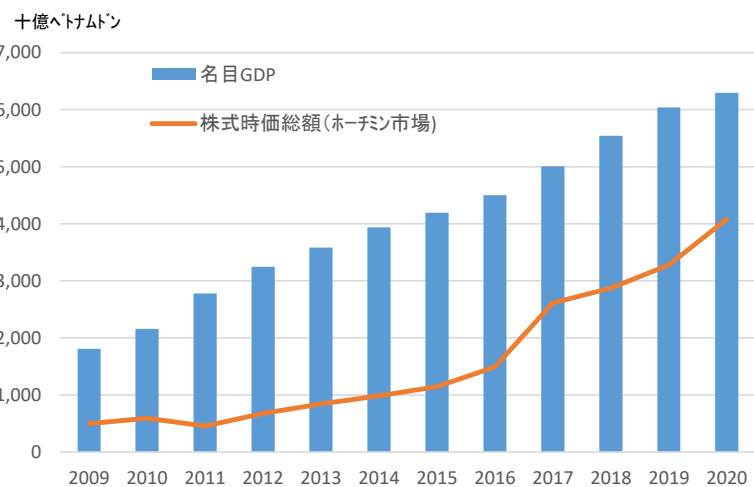
出所 IMF統計より当社作成

《人口の増加も加わり経済成長が加速していく》

2019年のベトナムの人口は9,646万人。日本の76%（ワールドメーターのデータによる）。しかし、若年人口の多いベトナムは今後も人口は増え続け、2050年には1億960万となり、日本の1億580万人を上回る予想です（同）。

IMFの統計によると、2020年のベトナムの一人当たりの名目国民所得は3,499ドル。日本のそれは4万ドルを超えています。物価上昇と収入増加の好循環が続く余地は大きいと思われる。

図表2 名目GDPと株式時価総額の推移



出所 各種データをもとに当社作成

以上から、ベトナムの経済成長が続く蓋然性は高いとみられます。経済成長に加えて「バフェット指数」の上昇も期待できます。「バフェット指数」とは、アメリカの著名投資家のウォーレン・バフェット氏が用いているとされる指標で、「当該国の株式時価総額÷当該国の名目GDP×100」で計算される指標です。100を超えると「割高」、下回ると「割安」、と考えるとされています。ベトナム株式市場のそれは64%（2020年末）です。経済成長とバフェット指数の相乗効果で中長期的な上昇が期待できる市場、それがベトナム株式市場と考えます。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20211216

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。